

事務連絡
令和2年8月18日

各都道府県私立学校主管課長 殿

文部科学省高等教育局私学部私学助成課

私立学校施設のバリアフリー化に関する実態調査について（依頼）

本年5月、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律が改正され、特別特定建築物に公立小中学校を追加するための規定が整備されたほか、改正法の附帯決議において、設置主体や規模に関わらず、全ての学校施設のバリアフリー整備を推進すること等が盛り込まれたところです。

このため、「私立高等学校等の実態調査について（依頼）」（令和2年6月30日付け2文科高第320号）においてバリアフリー化に係る調査を実施したところではありますが、改めて私立学校施設のバリアフリー化を推進するための基礎資料として、別紙のとおり、私立学校施設のバリアフリー化に関する実態調査を実施しますので、御協力をお願いします。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、別紙及び別添を参照の上、提出資料の作成について、所轄の私立学校のうち小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校を設置する法人に作成を依頼するとともに、回答を取りまとめの上、御提出願います。

短期間での依頼となり、また、新型コロナウイルス感染症に係る各種対応で御多用のところ恐れ入りますが、何卒御協力の程よろしくお願いいたします。

<本件問合せ先>
文部科学省高等教育局私学部
私学助成課助成第二係 青山, 望月, 菅原
〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2
TEL : 03-5253-4111 (内線 2746)
FAX : 03-6734-3396
E-mail : josei2@mext.go.jp

学校施設のバリアフリー化に関する実態調査要領

1. 調査対象施設

私立の小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，中等教育学校及び特別支援学校

(留意点)

- ・分校は1校として扱います。
- ・休校中の状態の学校，仮設・工事中の校舎・屋内運動場については，調査対象外とします。

2. 提出期限

令和2年9月28日(月)

3. 調査内容

調査1 学校施設のバリアフリー化に関する整備計画の策定状況【学校設置者毎の調査】

調査2 学校施設のバリアフリー設備整備状況【学校毎の調査】

(留意点)

- ・調査項目の詳細は，別添のとおりです。

4. 調査時点

令和2年5月1日時点での状況

5. 提出資料

都道府県集計用の以下の資料をエクセルファイルにて提出ください。

- ・集計票1
- ・集計票2(小中学校等校舎)
- ・集計票2(小中学校等屋内運動場)
- ・集計票2(特別支援学校校舎)
- ・集計票2(特別支援学校屋内運動場)

なお，学校設置者記入作業用の調査票は学校設置者の作業用の様式であり，提出は不要です。また，都道府県における業務の都合上，各学校設置者から提出のあった調査票を都道府県において集計することが困難な場合又は時間を要する場合，文部科学省へ御相談いただければ，文部科学省において集計を行いますので，御相談願います。ただし，入力判定欄に「NG」があった場合等における，都道府県の学校設置者への確認作業なども考えられますので，可能な限り早めに相談いただきますようお願いいたします。

6. 提出先と提出方法

メールにより提出

- ・提出先 : josei2@mext.go.jp
- ・件名 : ○○【都道府県名】バリアフリー調査
- ・ファイル名 : ○○【都道府県名】バリアフリー調査

※○○は、都道府県番号を半角で入力願います。

7. 留意事項

- ・災害等の影響により回答が難しい場合は御相談ください。
- ・調査結果については、とりまとめて公表する予定です。また、場合によっては学校設置者別に公表する可能性もあります。

- ・ 学校設置者は調査票ファイル（【学校設置者用】バリアフリー調査.xlsx）を用いて調査を行い、都道府県の所定の部局に提出してください。
- ・ 調査票ファイルには以下の5種類のシートが含まれています。
 - ・ 集計票1
 - ・ 集計票2（小中学校等校舎），集計票2（小中学校等屋内運動場），集計票2（特別支援学校校舎），集計票2（特別支援学校屋内運動場）
- ・ このほか、調査票及び集計票への具体的な記入方法については、それぞれの様式の上部に記載してある「記入上の注意事項」や、別シートとして示した「記入例」も参照してください。

【調査1】学校施設のバリアフリー化に関する整備計画の策定状況

- ・ 学校設置者毎の状況を記載してください。
- ・ 調査票1シートに記入してください。
- ・ 調査の他に、学校所在都道府県名、学校設置者名、担当部署・担当者名や、連絡先も記入してください。

（1）学校施設のバリアフリー化に関する整備計画の策定状況

- i) 所管する学校施設に係るバリアフリー化に関する整備計画の策定状況等について記入してください。
- ① 計画的に整備するための何らかの計画や方針等がある → 「1」を選択
② ①以外 → 「2」を選択

※ 本設問の整備計画は、以下のとおり「学校施設バリアフリー化推進指針」（平成16年3月）で示す既存学校施設に係るバリアフリー化に関する整備計画を念頭においたものですが、学校法人又は学校において策定している様々な計画の中で、設置する学校の施設に係るバリアフリー化に関する計画について記載してある場合、以下の指針の記載を踏まえた上で、学校法人において「①」と判断して回答いただくことも考えられます。

【参考】「学校施設バリアフリー化推進指針」(平成16年3月)(抜粋)

第1章2（2）バリアフリー化に関する合理的な整備計画の策定

地方公共団体等の設置者は、これまで述べた学校施設のバリアフリー化等に関する基本的な考え方を踏まえ、第2章で述べる計画・設計上の留意事項を参考として、既存学校施設のバリアフリー化に関する整備計画を早急に策定し、計画的にバリアフリー化を推進していくことが重要である。

既存学校施設のバリアフリー化に関する整備計画を策定するには、まず、所管する学校施設のバリアフリー化の現状を調査し、障害のある児童生徒等の安全かつ円滑な利用に対する障壁を把握する。その後、それらの障壁を取り除くための整備方法を検討するとともに、必要となる経費を試算するなど全体の事業量を把握する。さらに、将来動向の推計も含めた障害のある児童生徒の在籍状況を踏まえ、各学校施設のバリアフリー化に関する整備目標を設定し、所管する学校施設に係る合理的な整備計画を策定することが重要である。

（参照 URL：http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/009/toushin/04031903.htm）

ii) (1) i) において「①」と答えた場合のみ，当該計画や方針等の名称及びその概要について，記入してください。

(概要の記載例)

- ・ 条例に基づき，新增改築の際にスロープ等や多機能トイレ，エレベーター等を設置することとしている。
- ・ 平成〇年に実施したバリアフリー化の現状調査に基づき，必要となる経費を試算した上で，令和〇年までに，設置している私立小中学校全てにスロープ等や多機能トイレの設置，令和〇年までにエレベーター等の設置を完了するよう計画的な整備を進めている。
- ・ 円滑な移動等に配慮が必要な児童生徒が入学・転入等をするようになった際に，必要なスロープ等や多機能トイレを設置することとしている。

※ 複数の計画に記載がある場合は，主な計画について回答してください。

※ 対外的に公表していないものの，バリアフリー化に関する整備方針等がある場合については，名称欄を空欄として，その概要のみ回答してください。

iii) (1) i) において「②」と答えた場合のみ，学校施設のバリアフリー化に関する整備計画の策定予定を記入してください。

- | | |
|-----------|----------|
| ① 令和2年度中 | → 「1」を選択 |
| ② 令和3年度中 | → 「2」を選択 |
| ③ 令和4年度以降 | → 「3」を選択 |
| ④ 未定 | → 「4」を選択 |

【調査2】学校施設のバリアフリー設備整備状況

- ・ 学校毎の状況を記載してください。
- ・ 小学校，中学校，義務教育学校，高等学校及び中等教育学校（以下「小中学校等」という。）の校舎，小中学校等の屋内運動場，特別支援学校の校舎，特別支援学校の屋内運動場に分けて調査してください。
- ・ 調査票2各シートに記入してください。

（1）学校の基礎情報

i) 当該学校施設の階数を選択してください。

- ① 1（平屋建） → 「1」を選択
- ② 2（2階建） → 「2」を選択
- ③ 3以上（3階建て以上） → 「3」を選択

※ 複数棟ある場合は，校舎については最も階数の多い棟について，屋内運動場については最も床面積が大きい棟について回答してください。

※ 階段室や機械室，倉庫などの塔屋については階数に数えないでください。また，屋内運動場については，2階部分が，いわゆる保守用のバルコニー等のみの場合は，平屋建に該当するものとしてください。

※ 校舎・屋内運動場・その他の機能が複合化した棟は，その棟の階数を回答してください。

ii) 当該学校における円滑な移動等に配慮が必要な児童生徒等や教職員（以下，児童生徒等）の在籍状況を選択してください。

- ① 円滑な移動等に配慮が必要な児童生徒等がいる → 「1」を選択
- ② 円滑な移動等に配慮が必要な児童生徒等がいない → 「2」を選択

iii) 当該学校施設の避難所への指定状況を記入してください。

- ① 避難所に指定されている → 「1」を選択
- ② 避難所に指定されていない → 「2」を選択

※ 災害対策基本法に基づく指定避難所の指定が行われていない場合は，従来の地域防災計画に基づく「避難所」を含みます。

※ 一部分が避難所に指定されている場合も，避難所に指定されているものとします。

(2) 学校施設のバリアフリー設備整備状況

(2-1) 多機能トイレの整備状況

i) 当該学校施設における多機能トイレの整備状況について選択してください。

- ① 1ヶ所以上、車いすの使用者が円滑に利用することができる便所を設けている → 「1」を選択
- ② ①以外 → 「2」を選択

※ 校舎と屋内運動場が一体になっており、多機能トイレが共通に利用されているなど、容易に利用可能な状況にある場合も「1」を選択してください。

ii) (2-1) i) において「②」と答えた場合のみ、ソフト面での対応状況について選択してください。

- ① ソフト面での対応を行っている → 「1」を選択
- ② ソフト面での対応を行っていない → 「2」を選択

(ソフト面での対応の一例)

- ・移動等を補助する特別支援教育支援員等の配置
- ・教職員等による補助

※ この項目についても、可能な限り学校設置者内で把握している情報で回答し、学校現場に確認が必要な際も、電話等での簡単な回答に留めるなど、学校現場の負担増にならないよう最大限の配慮をいただけますようお願いいたします。

iii) (2-1) i) において「②」と答えた場合のみ、今後の整備予定について選択してください。

- ① 令和2年度中 → 「1」を選択
- ② 令和3年度中 → 「2」を選択
- ③ 令和4年度以降 → 「3」を選択
- ④ 未定 → 「4」を選択

(2-2) 敷地境界から教室等までのスロープ等の整備状況

<敷地境界から教室等のある各建物の出入口まで>

i) 当該学校施設の敷地境界から、全ての教室等のある建物の昇降口・玄関（以下「建物の出入口」という。）までの経路におけるスロープ等の整備状況について選択してください。

- ① 敷地境界から各建物の出入口までのいずれかの経路について、スロープ等で段差を解消している → 「1」を選択
② ①以外 → 「2」を選択

- ※ 段差がない、あるいは段差解消機等を設置済みなど、スロープの必要ない構造となっている場合は「1」を選択してください。
- ※ 利用時のみ鉄板を設置する等、一時的に設置するものは除きます。
- ※ 建物の出入口におけるスロープ等の整備状況は含みません。
- ※ 敷地境界から校舎の出入口までの経路における整備状況については調査票（小中学校等校舎）・調査票（特別支援学校校舎）、敷地境界から屋内運動場の出入口までの経路における整備状況については調査票（小中学校等屋内運動場）・調査票（特別支援学校屋内運動場）に記入してください。
- ※ 本調査において、教室等とは、校舎においては普通教室、特別教室、多目的教室、少人数授業用教室、ランチルーム、職員室、保健衛生室その他これらに類する室を、屋内運動場においてはアリーナ、集会室、講堂（専用講堂を除く。）、武道場その他これらに類する室を指します。なお、多機能トイレ、エレベーター等の乗降ロビーを含みます（多機能トイレ、エレベーター等が設置されている場合）。

ii) (2-2) i) において「②」と答えた場合のみ、ソフト面での対応状況について選択してください。

- ① ソフト面での対応を行っている → 「1」を選択
② ソフト面での対応を行っていない → 「2」を選択

(ソフト面での対応の一例)

- ・移動等を補助する特別支援教育支援員等の配置
- ・教職員等による補助

iii) (2-2) i) において「②」と答えた場合のみ、今後の整備予定について選択してください。

- ① 令和2年度中 → 「1」を選択
② 令和3年度中 → 「2」を選択
③ 令和4年度以降 → 「3」を選択
④ 未定 → 「4」を選択

＜建物の出入口から教室等まで＞

iv) (2-2) i) において答えた建物の出入口から、建物の出入口階にある教室等までの経路におけるスロープ等の整備状況について選択してください。

- ① 建物の出入口から教室等までのいずれかの経路について、スロープ等で段差を解消している → 「1」を選択
② ①以外 → 「2」を選択

※ 全ての教室等のある建物について回答してください。

※ 段差がない、あるいは解消済みなど、スロープの必要ない構造となっている場合は「1」を選択してください。

※ 利用時のみ鉄板を設置する等、一時的に設置するものは除きます。

※ 建物の出入口におけるスロープ等の整備状況を含みます。

※ 本調査において、教室等とは、校舎においては普通教室、特別教室、多目的教室、少人数授業用教室、ランチルーム、職員室、保健衛生室その他これらに類する室を、屋内運動場においてはアリーナ、集会室、講堂（専用講堂を除く。）、武道場その他これらに類する室を指します。なお、多機能トイレ、エレベーター等の乗降ロビーを含みます（多機能トイレ、エレベーター等が設置されている場合）。

v) (2-2) iv) において「②」と答えた場合のみ、ソフト面での対応状況について選択してください。

- ① ソフト面での対応を行っている → 「1」を選択
② ソフト面での対応を行っていない → 「2」を選択

(ソフト面での対応の一例)

- ・ 移動等を補助する特別支援教育支援員等の配置
- ・ 教職員等による補助

vi) (2-2) iv) において「②」と答えた場合のみ、今後の整備予定について選択してください。

- ① 令和2年度中 → 「1」を選択
② 令和3年度中 → 「2」を選択
③ 令和4年度以降 → 「3」を選択
④ 未定 → 「4」を選択

(2-3) エレベーター等の整備状況

i) (1) i) において②2(2階建), ③3以上(3階建て以上)と回答した場合のみ, 当該学校施設におけるエレベーター等の整備状況について選択してください。

- ① 階と階の間の移動に必要なエレベーター等を1台以上設置している
→「1」を選択
- ② ①以外
→「2」を選択

- ※ エレベーター等には、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令第18条第2項第6号の国土交通大臣が定める構造の昇降機を含めますが、その他の簡易的な昇降機や階段昇降車は含みません。(平成18年12月15日付け国土交通省告示第1492号参照)
- ※ 階と階の間の移動の出来るスロープ等を設置する場合も、エレベーター等を設置しているとみなします。
- ※ ある建物で上下移動をする際に、校舎と屋内運動場が一体となっておりエレベーター等が共通に利用されているなど、容易に利用可能な状況にある場合もエレベーター等を設置しているとみなします。

ii) (2-3) i) において「②」と答えた場合のみ, ソフト面での対応状況について選択してください。

- ① ソフト面での対応を行っている →「1」を選択
- ② ソフト面での対応を行っていない →「2」を選択

(ソフト面での対応の一例)

- ・移動等を補助する特別支援教育支援員等の配置
- ・教職員等による補助
- ・階段昇降機の設置, 階段昇降車の整備
- ・障害のある児童生徒等の移動が生じない工夫

iii) (2-3) i) において「②」と答えた場合のみ, 今後の整備予定について選択してください。

- ① 令和2年度中 →「1」を選択
- ② 令和3年度中 →「2」を選択
- ③ 令和4年度以降 →「3」を選択
- ④ 未定 →「4」を選択

調査票1は、学校法人単位で回答願います。

記入上の留意事項：

- ・記入すべき箇所が空欄であったり、記入すべきでない箇所に記入がある場合など、記入に明らかな間違いがあるとき、「入力判定」欄に「NG」が表示されますので、記載内容に誤りがないかご確認のうえ、修正下さい。例えば、計画を既に策定しているのに、計画の具体的内容の記載が無かったり、今後の策定予定を記載したり、計画を策定していないのに今後の策定予定に記載がない場合等です。
- ・なお、記入がしやすいように、左（B列）から順番に記入すると、次に記入すべきセルが黄色く着色されるようになっていきますのでご利用ください。

学校法人において、今後の学校施設バリアフリー化の整備に関する記載を盛り込んだものがあれば、幅広く策定済として回答ください。また、例えば設置する学校のうち一つの学校でのみ計画を策定している場合であっても、策定した計画の内容について、計画を策定していない学校でも適用できると判断できる場合には、策定済として回答ください。

学校設置者等										
学校設置者名	所属組織名	担当者氏名	電話番号	メールアドレス	入力判定	(i) 策定状況 1: 策定済 2: 未策定	(ii) 計画名称	(ii) 具体的内容	(iii) 策定予定 1: R2 2: R3 3: R4以降 4: 未定	入力判定
記入例① ◇◇学園	管財部施設課	施設 防太郎	XXX-XXX-XXXX	XXX@XXXX.XX.XX	OK	1	◇◇学園学習環境整備計画、◇◇学校バリアフリー化実行計画	平成30年に実施した学内のバリアフリー化の現状調査に基づき、必要となる経費を試算した上で、令和〇年までに、小学校及び中学校にスロープ等や多機能トイレの設置、令和▲年度までにエレベーター等の設置を完了する旨を盛り込んだ計画を策定している。		OK
記入例② ◇◇学園	管財部施設課	施設 防太郎	XXX-XXX-XXXX	XXX@XXXX.XX.XX	OK	2				2
記入欄					NG					

(1) 学校施設のバリアフリー化に関する整備計画の策定状況

調査票2は、学校単位（1校1行）で回答願います。

記入上の留意事項：

- ・記入すべき箇所が空欄であったり、記入すべきでない箇所に記入がある場合など、「入力判定」欄に「NG」が表示されるとき、「入力判定」欄に「NG」が表示されるとき、記載内容に誤りがないかご確認のうえ、修正下さい。例えば、既に整備済みであるのに、整備していない場合のソフト面の対応や今後の整備予定が記入されている場合、また、未整備であるのに、今後の整備予定の記入がない場合、平屋建てであるのにエレベーターの整備について入力がある場合などです。
- ・なお、記入がしやすいように、左（B列）から順番に記入すると、次に記入すべきセルが黄色く着色されるようになっていきますのでご利用ください。

シート全体の入力判定

NG

← 左欄がOKであることを確認してから提出ください

学校設置者名	(1) 学校の基礎情報										(2) 学校施設のバリアフリー設備整備状況										全体	
	学校名	学校種	i) 階数 1:平屋 2:2階建 3:3階建 以上	ii) 要配慮有無 1:有 2:無	iii) 避難所指定有無 1:有 2:無	入力判定	(2-1) 多機能トイレの整備状況					(2-2) スロースロープ等の整備状況【外部】					(2-3) エレベーター等の整備状況 ※2階建て、3階建て以上の場合のみ					
							i) 整備有無	ii) ソフト面対応	iii) 整備予定	入力判定	iv) 整備有無	v) ソフト面対応	vi) 整備予定	入力判定	i) 整備有無	ii) ソフト面対応	iii) 整備予定	入力判定				
記入例①	〇〇学園	××特別支援学校	特別支援学校	1	1	1	OK	1	1	1	OK	1	1	1	OK	1	1	1	OK	OK		
記入例②	〇〇学園	△△特別支援学校	特別支援学校	2	1	1	OK	2	1	2	OK	1	1	1	OK	2	1	3	OK	OK		
記入例③	〇〇学園	◇◇特別支援学校	特別支援学校	3	2	2	OK	2	2	3	OK	2	1	1	OK	1	1	1	OK	OK		
記入例④	〇〇学園	〇〇特別支援学校	特別支援学校	2	2	2	OK	1	1	1	OK	2	1	1	OK	1	1	1	OK	OK		
記入例⑤	〇〇学園	■■特別支援学校	特別支援学校	3	1	2	OK	1	2	4	OK	1	1	1	OK	2	1	3	OK	OK		
悪い例	〇〇学園	◎◎特別支援学校	特別支援学校	1	2	2	NG	1	1	1	NG	2	2	2	NG	2	2	4	NG	NG		
											↑ 整備済みに記入されている！ ↑ 整備済みに未記入！ ↑ 未整備なのに未記入！ ↑ 要配慮者が居ないのに記入されている！ ↑ 平屋建てにもかかわらず記入されている！											
↓																						
記入欄 25行目以下に記入ください。 (18行目～24行目は使用しないでください)																						